ロードス時報
百三号
LORDS BURG TIMES
—103—

日本行日 人口 牧十一 ダー 容二 バー 所才 知二 グー 事日。 日曜 曙星 月廿一 号火三

○北阿大陸會戰迫る
陸に海に空に戰雲動く

（倫敦A・P・廿一日発）アフリカ大陸戰期漸く熟し、昨夜は、聯合空軍が各戰区要地を爆撃した。折柄の大雨は地中海の沿岸一帯を濕したが、投彈の爲、各地に火災を起した。チュニス首府は左程でも無かつたがビザーテ軍港に相当損害を蒙つた。此大空襲を合図としたかの如く、各戰線も一歩々々行進した。一日平均十四哩の進軍力である。米八軍も、トリポリ東方百哩に迫り、ロメル軍はチュニス及びトリポリ間の聯絡に努力してゐる。地中海亦浪高し。

○英米空軍独逸本土を猛襲
独逸四十六機を失ふ

英国空軍は、デコースブルグを、又、米国空軍は巴里東部百哩地点の鉄道破壊の目的にて、夫れ〴〵空襲の結果、英国空軍は迎撃され其十八機を失つたが米国空軍は應戰の独機四十六機を撃墜した。

○日本軍二百ヤード後退
二岬戰区にて激戰に入る

ニューギニア島エンダアデア岬に據る日本軍に対し、密林地帯に陣取る濠洲軍戰車隊が、先西側を衝き其混乱に乘じて米国機関銃隊が南方より押し寄せ、更に廿七ミリ砲を以て、日本軍中堅を混乱せしめ人と計り流石に頑強防戰の日本軍も二百ヤード後退するに至れり

○英国印度軍東進

ニューデリーU・P・廿一日報道に據れば、ウエーベル軍の印度兵部隊はベンガル湾に沿ひてビルマ領に侵入し、マユ河畔に進駐した。日本軍は未だ防戰せず通信機関を破壊しつゝ後退したがアキャブ日本陣営まで約六十哩の河岸の西畔に停止した。

マックアーサー空軍は、ソロモン群島ニュージョージア島ムンダ日本軍港を連日空襲、今日亦々オ九回目の投彈

○ラバール基の警句

不足せるスルの調節と、其人造問題に没頭して居る、ゼフアーは近頃、戰爭狂島に均しい神経衰弱患者續出し、愛国の声に隠れて、軍事統制を好む者多し、抑々一国を守らんとせば宜しく私心を棄てて一致團結すべきに拘はらず此平凡なる真理を忘れてゐる非国民こそ迷惑至極だと諷刺した。

ウヰリアム・ビーチ曹長は、当日ラバールの米国空の要塞隊に加はり大功を樹てたとゆふ、同時に敵を凄さし詰つた。

○地中海上の孤島
マルタの奇蹟的存在

一九四〇年、独逸が佛国占據後、直に伊太利と聯合して、マルタ島の空襲を始め
一、シシリー島にその本部隊を置いたが
二、ナポリ
三、トラパノ軍港にも別働部隊を置き
マルタ島空爆の度毎にその西側の二小島即ち、コミノ及びゴゾー島にも投彈する。
最初の空爆攻来今日まで実に二千五百餘回の空襲と三百回の警報あり、五百二十台の独逸機が撃墜された。
此間投彈總噸數今や二万噸を數へられ多く尚陥落を見ず。
（註）此小島は、十七対八哩の小島、人口二十七万、一八一四年以来英国領となり今日に至る。歴史を語る処に因れば、西羅馬帝国、希臘、アラビア、ノルマン、アラゴン、等に統治されし事もある。

日本を滅すの近道あり

遂した。
赤露軍新戰法を試む
独逸冬の陣比較的頑堅なるも、チモシエンコ オ二十二軍は、新手を編み出し、急に行陣を南ミラローボに向けドン河に沿へて一直線に南進し始め独逸軍狼狽の態。

○日本軍二百ヤード後退
二岬戰区にて激戰に入る

ニューギニア島エンダアデア岬に據る日本軍に対し、密林地帯に陣取る濠洲軍戰車隊が、先西側を衝き其混乱に乘じて米国機関銃隊が南方より押し寄せ、更に廿七ミリ砲を以て、日本軍中堅を混乱せしめ人と計り流石に頑強防戰の日本軍も二百ヤード後退するに至れり

○英国印度軍東進

ニューデリーU・P・廿一日報道に據れば、ウエーベル軍の印度兵部隊はベンガル湾に沿ひてビルマ領に侵入し、マユ河畔に進駐した。日本軍は未だ防戰せず通信機関を破壊しつゝ後退したがアキャブ日本陣営まで約六十哩の河岸の西畔に停止した。

マックアーサー空軍は、ソロモン群島ニュージョージア島ムンダ日本軍港を連日空襲、今日亦々オ九回目の投彈

○ラバール基の警句

不足せるスルの調節と、其人造問題に没頭して居る、ゼフアーは近頃、戰爭狂島に均しい神経衰弱患者續出し、愛国の声に隠れて、軍事統制を好む者多し、抑々一国を守らんとせば宜しく私心を棄てて一致團結すべきに拘はらず此平凡なる真理を忘れてゐる非国民こそ迷惑至極だと諷刺した。

ウヰリアム・ビーチ曹長は、当日ラバールの米国空の要塞隊に加はり大功を樹てたとゆふ、同時に敵を凄さし詰つた。

○地中海上の孤島
マルタの奇蹟的存在

一九四〇年、独逸が佛国占據後、直に伊太利と聯合して、マルタ島の空襲を始め
一、シシリー島にその本部隊を置いたが
二、ナポリ
三、トラパノ軍港にも別働部隊を置き
マルタ島空爆の度毎にその西側の二小島即ち、コミノ及びゴゾー島にも投彈する。
最初の空爆攻来今日まで実に二千五百餘回の空襲と三百回の警報あり、五百二十台の独逸機が撃墜された。
此間投彈總噸數今や二万噸を數へられ多く尚陥落を見ず。
（註）此小島は、十七対八哩の小島、人口二十七万、一八一四年以来英国領となり今日に至る。歴史を語る処に因れば、西羅馬帝国、希臘、アラビア、ノルマン、アラゴン、等に統治されし事もある。

日本を滅すの近道あり

華府十九日発（羅府タイムス特信）日本を敗北せしむる一番の近道は、之まで日本が略取した土地を一つ一つ取り還すに在りとは一般に考へられてゐる事である。即ち、此考よりすれば濠洲、新西蘭を本據として、ソロモン島を掃蕩し、ニューギニアを取り進んでカロリン、マーシャル群島から、蘭領印度を攻め、次に比利賓に入り、それから台湾を攻め日本本土を略取すべしと謂ふにある。而して之が米国政府の策戰計画でもある様に見える。処で、今迄南洋で戰つた跡を辿つて考へると、日本の陸軍、海軍、空軍の頑強な抵抗で、米国側にも随分の損害があり、此調子では日本本土を攻める事は容易な業では無い。
処で、支那人に言はせると、此の米国の計画は近道どころかかへつて遠廻りになる。それよりも、日本を滅す一番の近道は支那を援助して支那兵に完全なる武裝を施すことである。支那には現在二千万人の兵がある。武裝はホンの一部にしか行渡らぬ。假りに支那兵員を四千万人に増加し之に完全武裝を施すことあらば、支那本土に駐屯する日本兵を悉く追ひ出し、進んで台湾に攻め入り之を略取すれば、比島や蘭領印度は戰はずして奪還し、又更に進んで日本本土をも攻略し得るのである。
而して其時日も亦久しくかゝる負担は無い。米国が今の如く延引時日と物資を浪費しつゝあるのは不可解極まると（完）

南米事情

ヴエネヂユラ国（一）

ヴエネヂユラ国は、世界中石油産出国としては、米国露国に次いで第三の石油国である。

それは、一九四〇年の調査であるが其頃立年にヴ国は三千八百万樽を増加して二億三千三百万樽となった。

ヴ国の石油業は主として、米、英、蘭三国の資本であるが、一九四二年から其産出は著しく減少した。之は船舶其他戦争が原因を為してゐるのである。

夫れにも拘はらず、米国の戰争の動力本源としては依然重要の国である。

又ヴ国は、戰争には可成密接な事になった。とくに、敵の潜水艦が活躍する為て其潜水艦はカルビアン海を往復する油船を襲ひ、又は、アルバ、カラカオの両島を砲撃するからである。両島では、ヴ国産石油の大部分を精製してゐる。

石油は、ヴ国の經済に重要なるは相違無いが其、尚同国には石油以外に多くの国家經済上重要な産物がある。

石油事業は、税金、賃金として国庫を潤し、又生活を高め、労力を他地方から吸収する。斯かる吸収は、他地方の開発を妨ぐ。ヴ国の地味は肥沃にして、コーヒー、カカオ等の重要輸出品を産し、又砂糖黍、椰子、木綿其他の熱帯植物を産し、高地には穀類其他の温帯産物を耕作してゐる。

鑛物は、金、鋼、鉄、石炭、塩、錫、アスベスト、水銀等を産し、其鑛業の開発未開発は、十分ならず。

牧畜業には未だ発達の餘地あり。

真珠、土産、其他木材にし、宮田み、商業用植物も多少ある。

總面積は三十五万方哩（金ヴエネヂユラ合衆国）あり、北米のペンシルヴアニア州と同大であるが、總人口は僅かに四百万のみ。

一九九年に西班牙の探檢家ロンリ、デ、オヘダは、ヴエネヂユラ湾を洋ろ、マラカイボ湖に入り、インデアンの家屋の堆さを見、又土人が家から家へカヌーを漕ぎまわるを見、伊太利ヴエニスの都に似たるより「小ヴエニス」の名を此国に命名したのは、たしかのことである。

地勢は全部熱帯に属するも、其気候は、低地は常夏にして、山岳の頂上は、永久に白雪に蔽はる。

石油地は主として、西北部のマラカイボ湖の附近と、東海岸に沿へる地方とにて低地は酷熱なり。

マラカイボ湖の南方及び東方には、北アンデス山脈と、カルビアン海に並行して海岸山脈連亜せり。此地方は、人口稠密にして、山脈の傾斜せる地帯にはコーヒーを耕作す。

しかるに、これは、工業中心地なり、首府カラカスも此地帯にあり。

◎第二世師團計画

陸軍省は、米国出生の日本人を以て組織せられたる師團を設け其師團長を白人を以てせんとする計画に一部者慎重中なる。之を発起せる理由は、是等第二世は米国に忠誠にして、彼等自身が善良なる米国市民たることを證明せんと熱意あるか、又一つは日本人は傳統的に善良ふる兵士なる事、斯かる二大理由あるに拘はらず之等の第二世を活用せざるは人力浪費なりといふことになる。

然るに又一方に於ては軍人方面より強硬なる反対論がある。それは、日本人は危急に際し信用することが出来ぬ。若し之等の師團を作った処で其活用には限度がある例へば太平洋方面の戰線に向はしめぬことは確である……と。

Dear Misao: Lordsburg was enveloped in a fog this morning for the first time since I came here. And we felt as if we were in the midst of autumn in spite of the fact that Christmas is near at hand. No wonder New Mexico is known as the "Land of Enchantment." We are in the healthiest state in the United States, we hear. That's quite right, I guess.

I'm feeling now as fit as a fiddle. Consequently I have a good appetite. Especially when I see at breakfast the hot hot-cakes! Well, they really excite my appetite. And I eat 'em with gusto. The artificial roses you sent me the other day are still fragrant with the smell of perfume.

英語だより

（98）

妻へ―

はじめてローズバーグが今朝霧に包まれたクリスマスを目の前にひかえてゐるといふのも故ある哉だ。ここへ来てからは、どの辺が秋酬にもかゝわらず、聞けば、ここは全米隨一の健康地ださうだが、まつたくさう思ふよ。今、私は頗る快適だ、それで食慾も旺盛、とりわけ朝食の折、あの暖かいハットケークを見ると、イヤ、まつたく食慾をそそられるよ、で、それをパク〳〵快哉に及ぶこの間送つて呉れたバラの造花はまだ香水の匂がぷん〳〵してゐる

ニューメキシコが「仙郷」として知られてゐる

祝時報百號

吉住浩巌

時報百號血涙痕　金文塔上刻勇魂

戰線場裡冠有史　寸鐵筆劍剛胸坤

忘年麻雀大會

来る廿五日（降誕祭当日）午前七時五十八分より、第九中隊社交室にて忘年麻雀大會を開催し、特に初心者の出場大歓迎。

○會費　拾仙、申込メ切廿四日正午迄

世話人　濱口（九中隊三寮）　藤永（十の六）

安孫子（十の九）　井上（十二の十）

麻雀牌及椅子の持参を望む。

○○○

第六中隊の祭原敬治氏令妹

追悼會

高山みとり夫人の訃報に接し、本廿二日午后七時より第六中隊食堂にて挙行